

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	第2次枚方市下水道整備計画（重点計画）														
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	枚方市														
計画の目標	下水道事業を推進することにより「快適な生活環境の創造」を目指し、枚方市上下水道ビジョンに掲げる下水道の役割の実現を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		3,031	A	3,031	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	下水道整備人口普及率を95.1%から97.1%へ向上させる。			
	下水道整備人口普及率	95%	97%	97%
	下水道整備区域内人口（人）／行政人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 污水）	新設	津田処理分区	污水管 φ100～450 L=5,524m	枚方市	■	■	■	■	■	1,252	－	－
	A07-002	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 污水）	新設	中部処理分区	污水管 φ75～400 L=7,560m	枚方市	■	■	■	■	■	1,245	－	－
	A07-003	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 污水）	新設	牧野長尾処理分区	污水管 φ200～400 L=3,723m	枚方市	■	■	■	■	■	509	－	－
	A07-004	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 污水）	新設	枚方処理分区	污水管 φ200 L=54m	枚方市		■	■			15	－	－
	A07-005	下水道	一般	枚方市	直接	枚方市	管渠（ 污水）	新設	寝屋川枚方処理分区	污水管 φ200 L=107m	枚方市		■				10	－	－
										小計						3,031			
										合計						3,031			

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
枚方市上下水道局において評価を実施し、枚方市上下水道事業経営審議会に意見を求めた。	令和4年11月
	公表の方法 枚方市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 汚水整備人口普及率が95.1%から97.3%まで向上したことにより、水洗化人口が372,401人（H26末）から376,179人（R1末）に増加し、生活環境の改善を図ることができた。 ・ 市内河川においてBOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準を達成し、公共用水域の水質を改善することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

・ 計画期間が令和2年度から令和6年度までの「第3次枚方市下水道整備計画」においても污水管渠の整備を進め、生活環境の改善を図る。
--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	97%	継続的に汚水整備を進め、目標を達成することが出来た。
	最 終 実績値	97%	

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	第2次枚方市下水道整備計画（重点計画）		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）	交付対象	枚方市

